

教育センター ニュース

教育支援課
マスコットキャラクター
しえん君



四日市市教育委員会 教育支援課 〒510-0085 四日市市諏訪町2-2(四日市市総合会館6階)
TEL (354)-8283 (代) FAX (359)-0280

ホームページ <http://www.yokkaichi.ed.jp/e-center/>

■特集 子どもの見方 ほめ方・ICTを活用した授業研究から

瞳目(どうもく)

教育監 葛西 文雄

「この言葉は、たとえば、池波正太郎の「鬼平犯科帳(二十四)」で、「その素早い身体のうちきは瞳目すべきものであった。」というように使われている。

先日、博物館と連携した4年生の理科の授業を見る機会があった。月の動きやスペースシャトル・国際宇宙ステーションの様子を立体映像装置で見た場面は、この言葉どおりであった。それだけでなく、月の時間による位置の違いやうごきを理解させるための工夫が随所に見られ、その説明も簡潔でわかりやすいものだった。「高い専門性」が子どもたちに感動を与え、宇宙への関心を高め、科学技術に夢を感じる心をはぐくむと、改めて思った。

昨年、小学校の特別支援学級の生活単元学習の授業を見せていただいた。2年生から6年生の9人の子どもたちが、体育館でマットを使って全力で鬼ごっこをしたりスクーターボードを楽しんだりしていた。一人ひとりの子どもの特性を捉え、運動能力・社会性・味わせた達成感の面から、個別の目当てを指導案に示しての場の設定だった。しかも、相互のかかわりが生まれるような工夫もされており、生活単元学習としてのよさが際立ち、子どもたちの健やかな成長に結びつく授業との感想をもつた。

若山牧水の歌に、「若竹の 伸びゆくごとく 子ども等よ 真直ぐにのばせ 身をたましひを」がある。どの子も真直ぐに伸びていくことが出来る教育環境を整えることが、子どもにかかわる私たちの仕事である。求められているのは、その質的な向上である。そのためには、それぞれの職種や分掌の役割を確実に果たす「専門性」を身につける必要がある。今、任されている仕事や目の前にある問題の解決に、手立てを考え続けて取り組む姿勢が大切であろう。意外と、そのような人は机を並べている身近に「瞳目」すべき存在としているように思うが、どうであろうか。



教師のための

～ ペアレント・トレーニングから学ぶ ～

子どもが変わる 子どもの見方・ほめ方とは！

「教室で気になる子はいますか？」

「気になる子に、教師としてどう対応していますか？」



と尋ねると、「気になる子は何人もいます。」「いくら注意しても改善されません。」と、気になる行動に悩む声を聞きます。学校で見られる行動と同じように、家庭でも保護者の困り感は同じです。困った行動が毎日繰り返されることで、保護者は疲労困憊、心を痛めてしまうケースも少なくありません。もちろん、親子関係も不安定になってしまいます。

U-8「子どもの見方・ほめ方教室」では、保護者が「子どもの行動観察をもとにして、子ども理解を進め、ほめて、子どもの望ましい行動を増やすこと」を中心に、グループで学習を進めています。

私たち教師も、日ごろどのように子ども理解を進めているか、どのように対応しているかを、今一度ふり返ってみてはどうでしょうか？



教育支援課スタッフは奈良教育大学教授の岩坂英巳先生の指導のもとで、研修を続けています。その一例を紹介します。

下記のワークシートを使って実践してみてください。

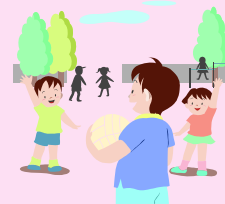
実践 その1 行動の観察

子どもの行動を観察しましょう。1～2週間の期間を決めて取り組みます。

日付	状況や場面	子どもの行動	あなたや周りの対応	子どもの反応
例)	休み時間に外でドッチボールをして遊んでいたとき	ボールを他の子と取り合いし、奪った	周りの子が、すぐにボールを取り返した	怒って、取り返した子に突っかかっていった

*具体的に、詳しく記録します。子どもの特性が見えてきましたか。

*周りの状況や、あなたや周りの対応を見直してみましょう。



実践 その2 ほめ方のふり返し

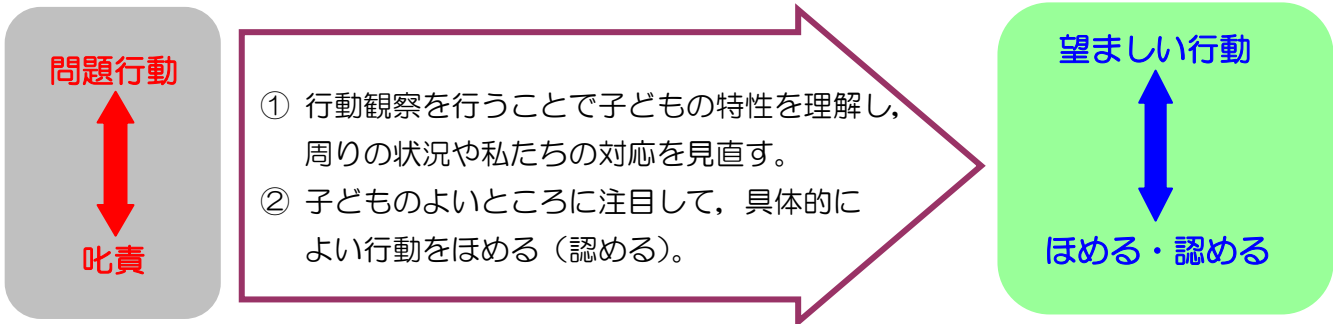
子どものよい行動に目を向け、どのようにほめているかを記録します。

日付	あなたがほめた行動	どのようにほめたか
例)	一つしかない実験器具を、使う順番と時間を決めて使うように提案した。	順番や時間を決めて、みんなが使えるようにしたのは、みんなが嬉しいね。

*あなたが、子どものどういうことをほめているかが見えてきましたか？

上手なほめ方のポイント

1. 視線を合わせて
2. 近づいて
3. 表情豊かに 気持ちを伝える
4. タイミングよく（よい行動が始まったらすぐ）
5. 簡潔に 具体的に



実践 その3 タイプに応じた対応

子どもの行動を3つのタイプに分けて記録します。

好ましい行動 (増やしたい行動)	好ましくない行動 (減らしたい行動)	許しがたい行動 (破壊的、人を傷つける行動)
例) 順番を守る	友だちにちょっかいをかける	気に入らないことがあると、ドアを蹴る
ほめる(すぐに、具体的に)	注目しないで(冷静に見守って) よい行動が現れたらほめる	きっぱりと具体的に〇〇できなくなることを告げる

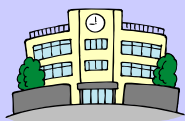
子どもの行動を3つのタイプに分けることで、一貫性をもって、子どもへ対応ができるようになります。特に、教師が子どもの好ましい行動を認める姿を示すことは、個人にとどまらず、学級全体へのメッセージにもなります。つまり、子どもたち自身が、何がよい行動で、何が悪い行動で、どうすればよいのかがわかっていくということです。

教師をモデルにして、子どもたちがお互いに認め合える関係になっていくと、子どもたちのやる気が向上し、いきいきとした姿が現れてくることでしょう。



「AD/HDのペアレント・トレーニング」ガイドブック(岩坂 英巳 中田 洋二郎 井淵 知美 発行所 じほう)を参照しました。

ICTを活用した授業研究から



笹川中学校

～全ての教員がICTを活用し、効果的な学習方法を研究する～

笹川中学校は、重点課題研究推進校を受けて2年目。全教員でICTを活用した効果的な学習方法の研究に取り組んでいます。実践した多くの教師は「ただ映像を大きく提示するだけでなく、指導のねらいや子どもの実態に応じた発問や指示をすることが重要である」「常に振り返ることのできる板書との併用は大切だ」「ICTの使い方ではなく、授業面でのスキルを改めて見つめ直すことが大切だ」と感想を述べています。



マット運動の演技をカメラで記録しフォームの確認

重点課題研究指定校の公開授業研究

研究主題 「自他ともに大切にすることを学ぶ」

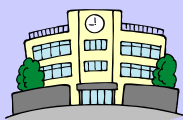
～小グループ学習やICTを活かした学び合いのある授業づくり～

公開日 平成23年11月14日(月)13:30～16:30

場所 四日市市立笹川中学校

講師 大阪教育大学 教授 木原 俊行 先生

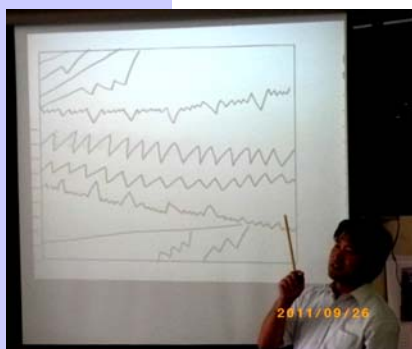
受講者募集中 教育支援課に申し込んでください



羽津中学校 (美術 第3学年)

～書画カメラを活用した学習活動の取り組み～

羽津中学校でのICT授業研究は3年生の美術(単元:抽象絵画)。学習内容は、音楽を聴いてそのイメージをペンの線だけで表現するというもの。授業者は、書画カメラの活用について「このような表現活動には、書画カメラは欠かせない」「生徒の作品を単に大きく見せることが目的でなく、生徒自身がその時に描いた線への思いを周りに伝えるための活用になっていたかが重要」と活用のポイントを述べていました。他の教師からは「書画カメラの使い方ひとつで、生徒の表現の幅がこれほど広がるとは思わなかった」と書画カメラの効果を実感していました。



書画カメラを活用した学習活動(美術科)